

UNIX 教室、第2情報処理実習教室で 利用していたデータへのアクセス方法

1. はじめに

1) 対象者:

～2007年3月15日(木)まで「UNIX教室」、「第2情報処理実習教室」で「ホームディレクトリ」、「共有フォルダ」を使用されていた
教員、学生の皆様

2) 概要:

UNIX教室、第2情報処理教室の38号館への移設に伴い、2007年4月6(木)より「UNIX教室」、「第2情報処理実習教室」
の「ホームディレクトリ」、「共有フォルダ」は、読取り専用データとして表1の教室でアクセスが可能となっております。

尚、読取り専用として保存される期間は～2007年8月31日(金)までとなっております。これ以降はアクセスできなくなります。
「UNIX教室」、「第2情報処理実習教室」の「ホームディレクトリ」及び、「共有フォルダ」に保存していたデータをご利用いただく場
合、本書「2.データコピーの手順」を参照の上、表1のいずれか教室で1度のみコピー(移行)していただきますよう、お願い致しま
す。

表1 UNIX教室ホームディレクトリのデータへアクセス可能な教室

項	建屋	階数	教室名	アクセス可能OS
1	33号館	1F	OSEセンター	Linux
2	38号館	2F	第5・6・7・8・9・10情報処理実習室	Linux
3	10号館	9F	第3情報処理実習教室	Linux
4	KUDOS	3F	第5・6リテラシー教室	Linux
5	KUDOS	4F	第3自由利用教室	Linux
6	KUDOS	4F	多目的演習室1・多目的演習室2	Linux

上記、教室の「ホームディレクトリ」は38号館Linuxファイルサーバのリモートドライブを利用しております。その為、どの教室から
も共通のデータへアクセス可能となっております(ただし、読み取り専用)。

「UNIX教室」、「第2情報処理実習教室」の「ホームディレクトリ」及び、「共有フォルダ」に保存していたデータは、上記のいづれ
かの教室で一度コピーいただくことで2007年8月31日(金)以降もご利用が可能となります。

2. データコピーの手順

この手順は、「UNIX教室」、「第2情報処理実習教室」の「ホームディレクトリ」及び、「共有フォルダ」にあるデータを「ホームディレ
クトリ」へコピーする手順を記しています。

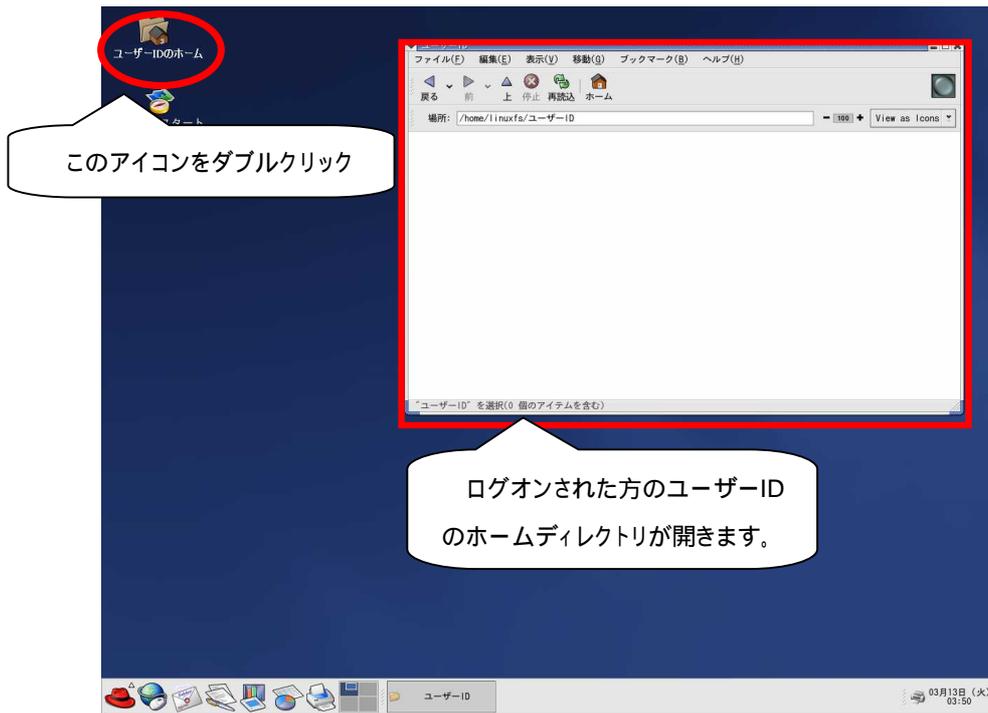
手順:

- 1)Linuxを起動し、ログインします。ログインにはWindowsと共通のユーザーIDとパスワードを用います。

2) デスクトップ上の「ユーザーIDのホーム」をダブルクリックします。(図1)

「ホームディレクトリ」が開きます。ユーザーIDの部分はユーザーIDが表示されます。

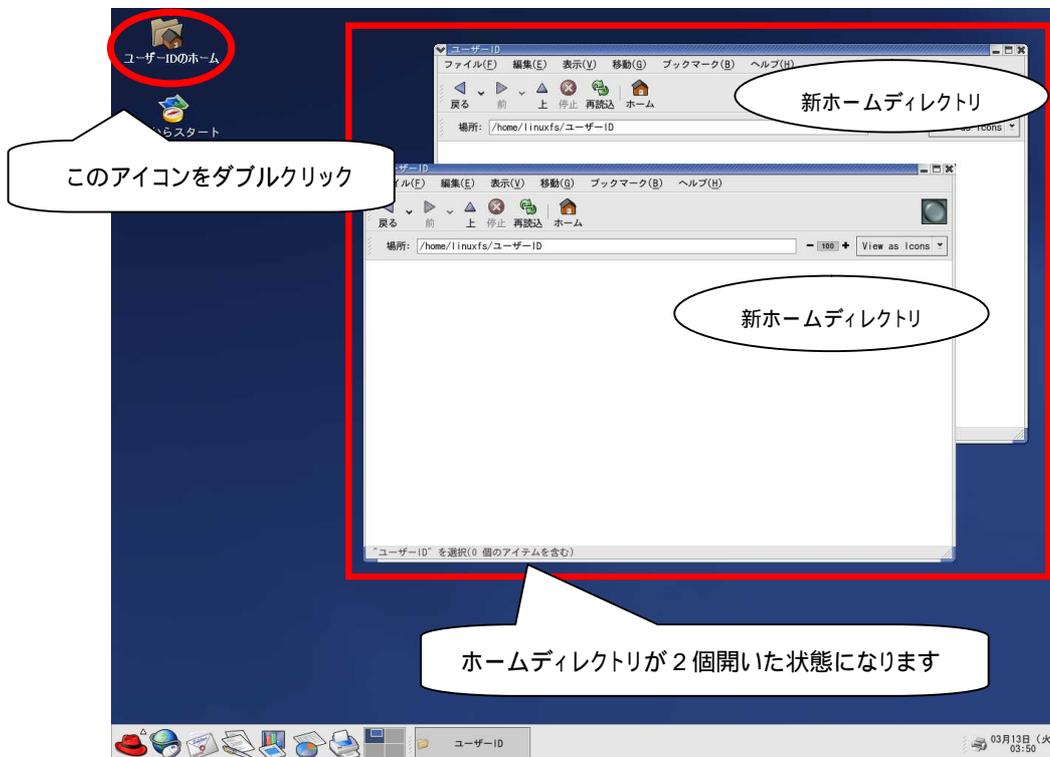
図1



3) 再度、デスクトップ上の「ユーザーIDのホーム」をダブルクリックします。

「ホームディレクトリ」が2画面表示した状態となります(図2)。

図2

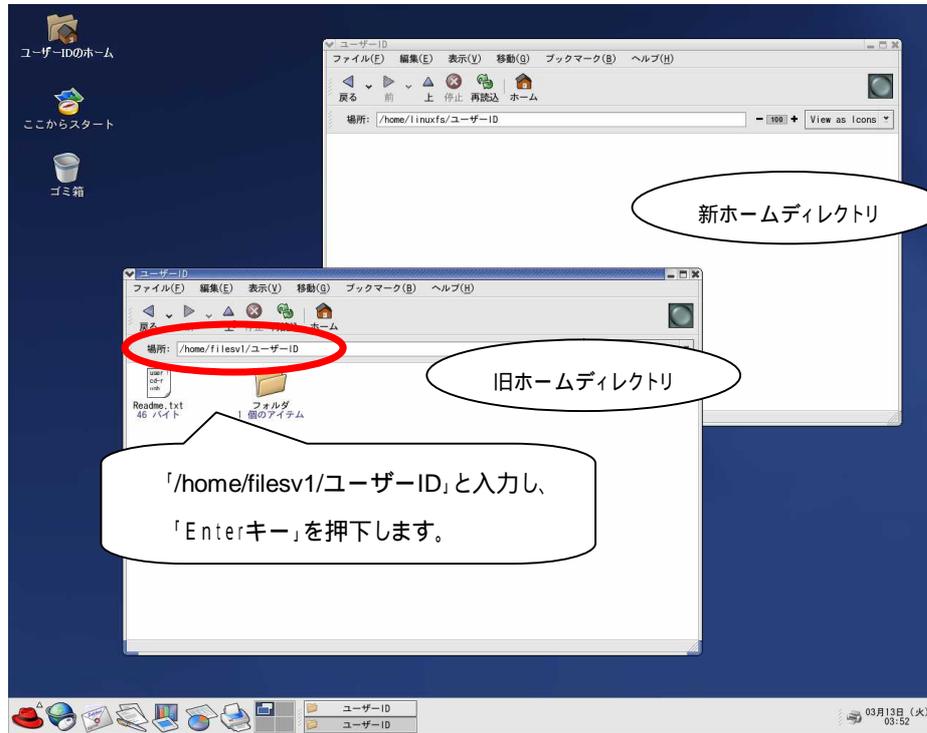


4) 「場所:」欄に以下のいずれかを入力し、「Enterキー」を押下します。ユーザーIDの部分はログイン用のユーザーIDを入力してください(図3)。

「/home/filesv1/ユーザーID」: 「UNIX 教室」、「第2 情報処理実習教室」の「ホームディレクトリ」のデータをコピーする場合

「/home/filesv1/Learning」: 「UNIX 教室」、「第2 情報処理実習教室」の「共有フォルダ」のデータをコピーする場合

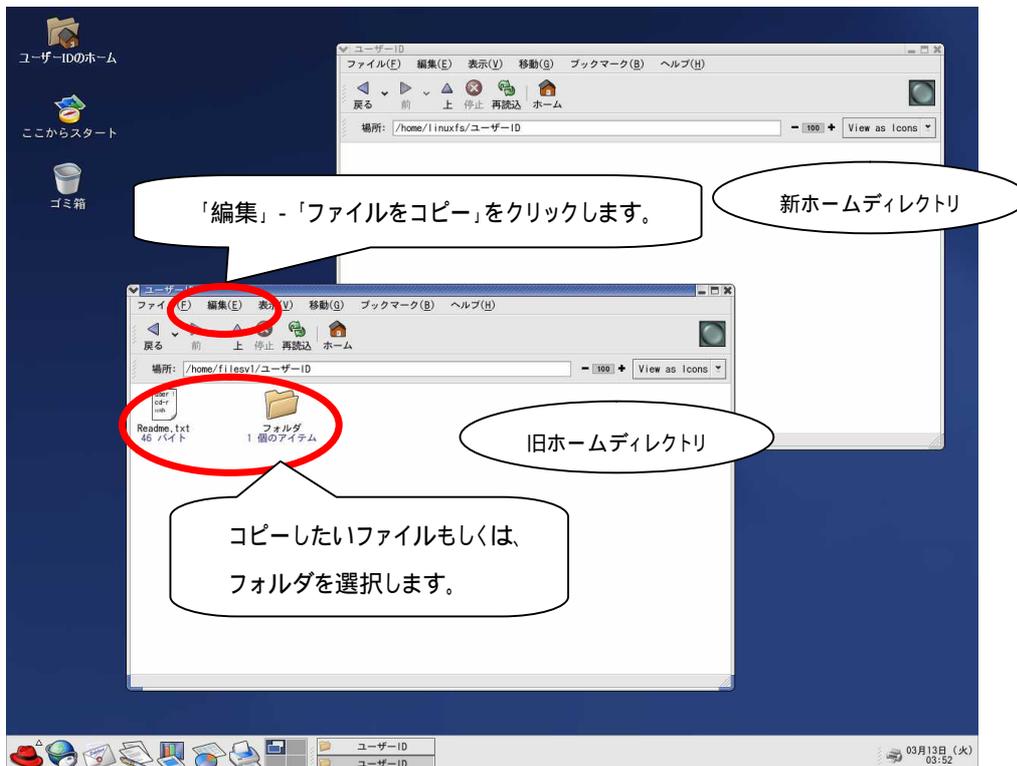
図3



「ホームディレクトリ」のデータをコピーする画面を示しています。「共有フォルダ」のデータをコピーする場合は適宜読替え下さい。

5) コピーしたいファイルもしくはフォルダを選択し、メニューから「編集」 - 「ファイルをコピー」をクリックします。(図4)

図4



- 6) 「場所:」欄が「/home/linuxfs/ユーザーID」となっているウィンドウをクリックした後、メニューの「編集」 - 「ファイルの貼付け」をクリックします。以上で、「UNIX 教室」の「ホームディレクトリ」に保存していたデータがコピーされます(図 5)。

図 5

